

投稿

ホームページ続けて25年！

大宝西学区 教野 弘孝 (32期 陶芸)



少し暗くなってきた京都東山のお寺を散策中、

「失礼ですが教野さんでしょうか？」背後から若い女性に声をかけられた。場所が場所だけに、少し身構える。

「はい、そうですが？」

「うわあ、嬉しい！、握手してください！」
な、なんだ？、アイドルか？

「私、ずっと教野さんのホームページのファンです。いつもあちこちに出かけられているのを拝見するのが楽しみです。ところで、お怪我はいかがですか？」自分の入院や怪我までホームページに掲載しているのだから情報が筒抜けだ。



1995年ごろの現役時代、単身赴任で東京を拠点に全国を飛びまわっていた。休日に秋葉原に通いつめて部品を集め、夢中でパソコンを組み立てていた頃はインターネットの黎明期。大企業でさえまだホームページを公開していなかった時代。営業のツールにと、扱う商品紹介のホームページを自学で作りはじめたのをきっかけに、自分自身のホームページ「青りんご」を公開開始した。



「徒然草」と銘打ったサイトで日常のつぶやき、紀行アルバムなどを掲載し続けている。

URLは <http://kyouno.com/>



25年を経て現在、サーバー上にアップした累積コンテンツは記事5,400件、写真146,000枚、内部動画4,900本、youtube動画2,900本を数える。5月現在、累積閲覧数12万人を超えている。

その時々家族、子供の結婚、孫の成長、世の中の大事件、話題、観劇、作陶、撮影会、展覧会、映画、祭り、花めぐり、旅行記などを写真、動画で見直すと当時の思い出がありありと頭に浮かび、人間の記憶は脳に確実に蓄積していることが分かる。

旅行やイベントには常にカメラ持参で出かけ、それを記事としてホームページにアップロードするまでが日課として忙しい。

若い頃は日記をつけていたが、私にとってホームページは現代式絵日記と言える。月に3回ぐらいの映画館通いで感動した映画の感想も記事になる。

レイ大在学中は2年間のクラスの授業を1日も欠かさずホームページにアップした。また、フォトウォーククラブの全活動も卒業後も継続している。その他、中学校の同窓会、高校の同窓会、会社OB会、写真クラブ、陶芸同好会、音楽バンドなど、現在は15件のホームページをお世話している。

ホームページへのいろいろな反応を列記してみる

- 当時個人でホームページを持っているという珍しさから、パソコン雑誌から取材を受け、記事になった。(HomeMac 1996-12月号)
- 観光地へ行く前にいつも私のホームページ内を検索してから行き、参考になったと感謝の知らせ。
- 京都の山奥の打ち捨てられた墓石の墓場の記事を見たあるテレビ会社から、心霊番組に使うのでそこへはどのようにして行くのかとの問合せ。
- 既に解体された映画館の写真を、テレビ番組の地域の回顧シリーズで使いたいとの要望。
- 観光ガイドブックの出版社から、時期的になかなか撮れない桜名所の写真を使わせてくれと依頼。
- 学校の先生から、今は撮影禁止となった寺院の天井絵の写真を授業用に使いたいとの要望。
- マイナーな美術館訪問記が話題になり、客が増えたと美術館からの御礼。
- タイに住む小学校の友達から、60年ぶりに突然メールが来た。(世界で観られていることを実感)

レイ大関連の記録

- (32期陶芸学科の2年間)
- (32期のフォトウォーク)
- (レイ大大学祭)
- (OB,同窓会作品展)



← QRコードをスマホ、タブレットなどで読んで閲覧できます